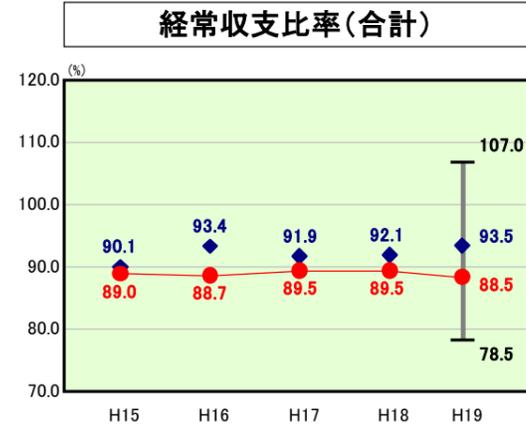


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

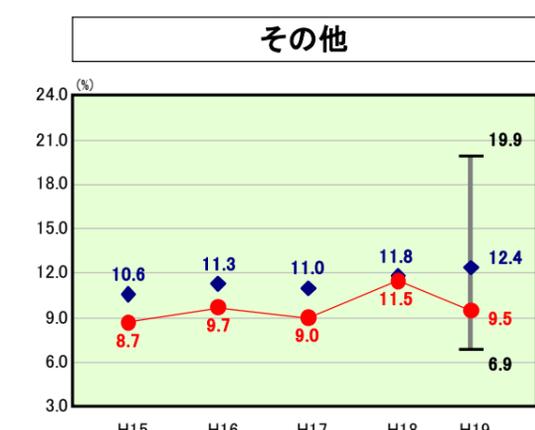
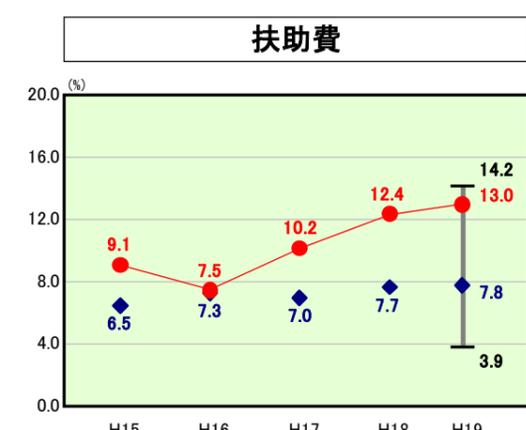
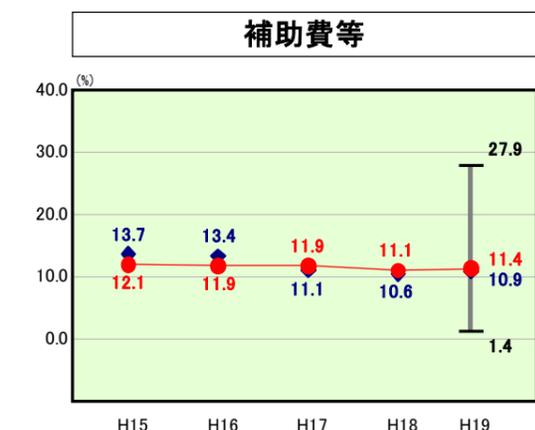
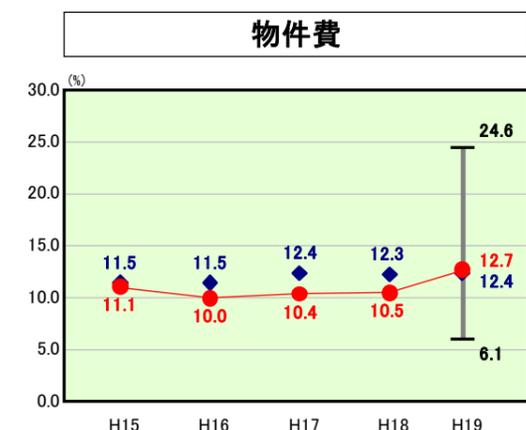
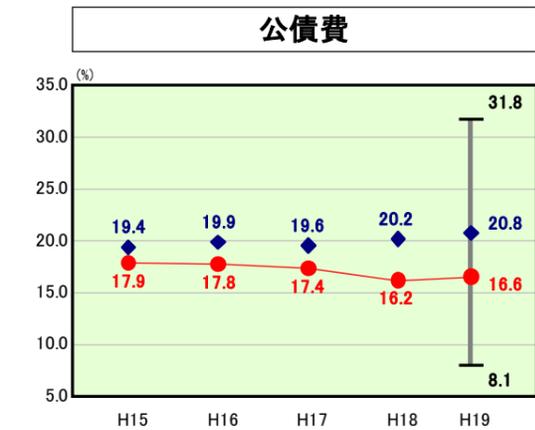
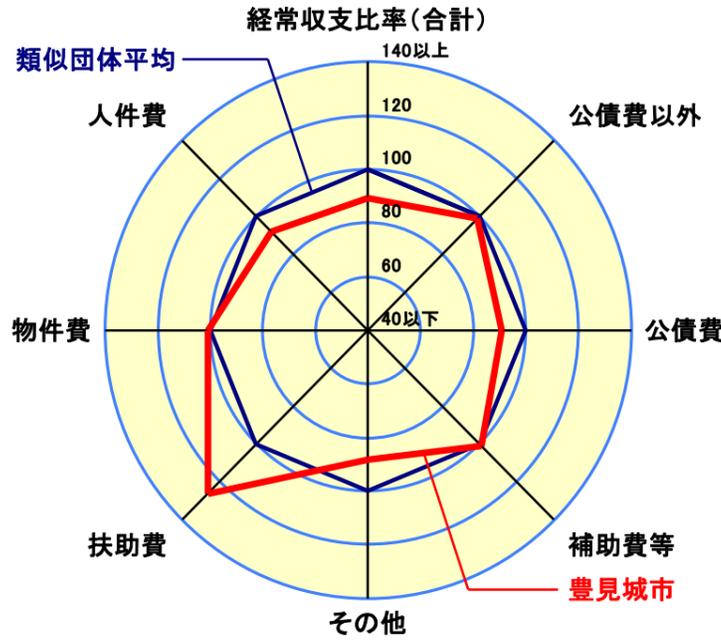
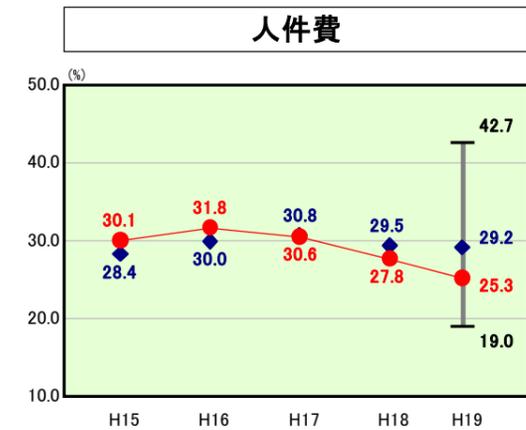
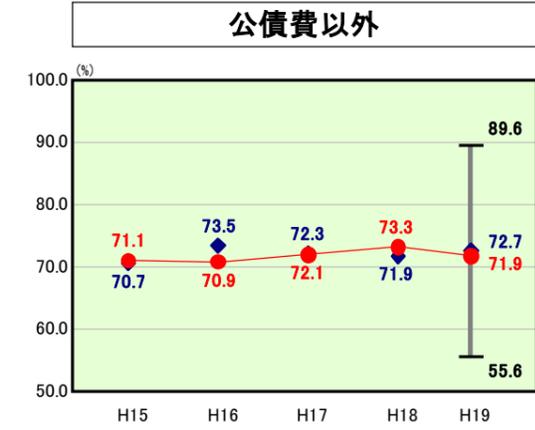
沖縄県 豊見城市

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
 類似団体内平均値 ◆
 類似団体内最大値 ▮
 類似団体内最小値 ▮

人口	55,038人(H20.3.31現在)
面積	19.45 km ²
歳入総額	21,183,616千円
歳出総額	20,874,506千円
実質収支	216,883千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 経常収支比率(合計)**: 自主財源が堅実に伸びる中、それを上回る勢いで社会保障関係経費が増加するなど、経常収支比率はここ数年高水準で推移している。税の徴収強化等による歳入確保や職員定数の計画的な削減などによる義務的経費の抑制により、改善に努め、健全な現水準を維持するよう努める。(平成18年度 89.5 類似団体平均順位 30/127)
- 人件費**: 平成15年度以降の定員削減により、類似団体平均を下回っている。平成22年4月1日における定員では、平成17年4月1日現在定員に対し、18人(4.7%)の純減を図る。今後も事務事業全般の見直しを図り、より適正な定員管理に努める。(平成18年度 27.8 類似団体平均順位 48/127)
- 物件費**: これまでは、類似団体平均を下回って推移していたが、事務の統合や定員削減に係る賃金職員の増加やシステム整備などで、類似団体平均を0.3ポイント上回った。今後、一層の行政のスリム化を図るのに伴い、他の費目から物件費へのシフトが進むと想定されるため、節度ある歳出の見直しに努める。(平成18年度 10.5 類似団体平均順位 33/127)
- 扶助費**: 前年度比0.6ポイント増加し、類似団体内2番目に高くなっている。要因としては、制度改正による一般財源負担が増えたことや生活保護費や児童福祉費などの対象者の増加や拡充である。今後は資格審査等の強化と適正な給付の執行を図り、上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。(平成18年度 12.4 類似団体平均順位 27/127)
- 公債費**: これまで地方債発行の抑制を図ってきたことから、類似団体平均を大幅に下回ってきたが、学校建設や公営住宅建設等の事業に伴う起債などにより、今後は増加していくものと見込まれる。今後は、事業の緊急性・必要性を精査し、計画的に事業を実施する。(平成18年度 16.2 類似団体平均順位 27/127)
- 補助費等**: 前年度比0.3ポイント上昇し、平成17年度以降、経常収支比率に占める補助費等の割合は、類似団体平均を上回る結果となった。要因としては、ゴミ処理施設や介護広域連合などへの負担が多額なためである。今後は、市単補助金を削減する等を行い、現水準を維持できるよう努める。(平成18年度 11.1 類似団体平均順位 61/127)
- その他**: 類似団体平均に迫った前年度より2.0ポイント改善し、9.5となった。要因としては、老朽化した施設等の維持補修費の増があるものの、繰出基準内の経常的な繰出金が大幅に減少したことによる。今後は増加見込みの繰出金については、経営健全化を図るよう努める。(平成18年度 11.5 類似団体平均順位 62/127)